

第5学年2組 外国語活動学習指導案

平成22年2月18日(木) 4校時

指導者 阿部 由紀

A L T マーク・ダックワース

(男子 12名 女子 16名 計 28名)

- 1 単元 Lesson 8 時間割を作ろう
- 2 目標 (1) 時間割を作ることに興味をもち、活動に進んで取り組もうとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) グループで作った夢の時間割をはっきり伝えようとする。
(コミュニケーション)
- (3) A L Tの母国のカナダや外国の学校生活・教科について興味を持つ。
(国際理解)

3 語彙・表現

- (1) 語彙 ・ China, Australia, Japan, Canada など
- ・ Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday
- ・ Japanese, math, science, social studies, P.E., Music, home economics, art and crafts, English など

(2) ねらいとなる表現

- ・ I study math on Friday. (What subject do you study on Friday?)

4 指導計画

時 (M)	学習内容	◇評価規準 (評価の方法)
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の小学校で勉強している各教科の言い方を知る。 カナダの学校生活についてのA L Tの話聞き、日本との共通点・相違点を知る。 	◇A L Tの母国のカナダの学校生活の話に興味を持って聞く。 (行動観察)
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 歌やゲームを通して、曜日や教科の言い方に慣れる。 	◇歌やゲームに積極的に取り組む。 (行動観察)
3 (3) 本時	<ul style="list-style-type: none"> 何の教科を学習しているか、尋ねたり、答えたりする。 	◇「What subject do you study?」の質問を最後までしっかり聞いて、相手の目を見てはっきり答えようとする。 (行動観察)
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> グループで夢の時間割を作り紹介し合った後、投票制で学級の夢の時間割を作る。 	◇夢の時間割作りに興味を持ち、活動に進んで取り組もうとする。 (行動観察)
		◇相手を意識して、作った夢の時間割をはっきり伝えようとする。 (発表観察)

5 本時の指導

(1) 目標 ・「What subject do you study?」の質問を最後まで聞き、相手の目を見てはっきり答える。

(2) 展開

過程 (分)	活 動 の 流 れ		・指導上の留意点 ◎評価
	児 童	指 導 者	
5	1.あいさつをする。 ○英語の時間のあいさつをする。 ○一人ひとりが指導者のHow are you? に答える。	・全体にあいさつした後、各児童に How are you? と尋ねる。	・英語で元気にあいさつをし、英語学習の始まりを意識させる。 ・一人ひとりやりとりし、自信を持たせる。
10	2.教科名の復習をする。 ○キー・ワード・ゲームをペアで行う。 ○ミッシング・ゲームをする。	・JTEが全体の動きを指示し、ALTがゲームをリードする。	・事前に黒板に掲示しておくことで、時間を短縮する。
15	3.何の教科を勉強しているかを尋ねたり、勉強している教科を答えたりする。 ○指導者の話を聞き、基本表現について知る。 ○基本表現の練習をする。 ・英語を聞く。 ・ALTの後に続いて ・質問と答に分かれて ・ペアで ○カード交換ゲームをする。 活動のめあて：「①相手の目を見る、②相手の話を最後までしっかり聞く、③はっきり相手に伝える」	・JTEが「調べてみたら、インドやオランダでは考えられないおもしろい教科がありました。どんな教科か興味がありますね。では、英語で聞いて下さい。」のように知りたい、聞いてみたい気持ちを持たせてから、ALTの英語を聞かせ、練習に進む。 ・JTEが全体の動きや活動の区切りを指示し、ALTが練習をリードする。 ・カード交換ゲームのめあてを伝える。	・児童の興味を喚起するために導入を工夫する。 ・何度も聞かせ、口真似させて、英語の音声やリズムに慣れ親しませるようにし、自信をもってやりとりできるようにする。 ・めあてを伝えることで、カード交換ゲームの活動が雑にならないようにする。 ◎相手の話を最後まで聞き、相手の目を見てはっきり話そうとしているか。(観察)
10	4.「What subject do you study?」の質問に夢の時間割に必ず入れたい教科を考えて答える。	・夢の時間割に必ず入れたい教科を考えさせた後、一人ひとりに「What subject do you study?」と尋ね、達成度を評価する。	◎質問を最後まで聞き、自分で教科を選び、相手の目を見てはっきり答えようとしているか。(観察)
5	5.振り返り ○今日の学習の感想を発表する。	・数人の発表を聞き、子どもの頑張りをほめてあいさつする。	・本時の振り返りにより「今日の学習」が、みんなで共有できるようにする。